

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	行動の振り返りから考える急変対応に対する看護師の感情		
2. 対象患者	集中治療部にて、研究期間中に行われた急変対応(重症不整脈に対する心肺蘇生)が行われた患者2名様		
3. 対象となる期間	平成30年 6月 1日 ~ 平成30年 12月 31日		
4. 実施診療科等	集中治療部		
5. 研究責任者	氏名	石田 広輝	所属 看護部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	当院ICUでは、実際に急変対応(重症不整脈に対する心肺蘇生)を行った症例に対して、看護師がどう行動したのかや、どのような感情があったのかなどの振り返りは行っていないという現状がありました。そのため、平成30年度から急変対応を振り返るカンファレンス(会議、検討会)を導入し、看護師の急変対応の役割の理解度や不安の程度を明らかにして今後の課題を明確にしたいと考えました。		
8. 研究の目的	急変対応に対する看護師間での振り返りを行った結果から看護師の行動や感情を分析して、急変時の役割の理解や不安の程度を明らかにし、急変時の不安軽減に向けた今後の課題を明確にします。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	ICUで急変時対応を行った症例の、急変時情報収集用紙(日時、疾患名/手術名、治療に当たった医師、臨床工学技士、看護師の役割、血圧、心拍数、経皮的酸素飽和度、心電図、処置・状態・薬剤投与)と急変時振り返り記録用紙の内容・発言(発見時・挿管介助、胸骨圧迫の対応、除細動の介助、各役割の動き、リーダーの采配)を用います。実践報告:平成30年6月1日~12月31日に弘前大学医学部附属病院ICUで重症不整脈に対する心肺蘇生、及びその症例についての振り返りが行われた患者2名様を対象とし、看護師の行動や発言についての記録を抜き出して内容を分析します。質問紙:個々の看護師の急変対応時の役割の理解度や急変への感情、不安など精神的負担を分析します。		
10. 個人情報の保護	研究開始前に以下の情報を、原則、弘前大学医学部附属病院のホームページ上で公開し、研究対象者が参加することを拒否できるようにします。使用する情報には患者様個人を特定する情報を含みません。研究成果公表の際も同様に個人情報を含みません。対象の患者様もしくは御家族より拒否の申し出があった場合は研究対象から除外します。ただし、すでに解析済みの場合や研究結果公表済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本研究において、利益相反関係にある企業等はありません。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院集中治療部		
	電話	0172-39-5322	FAX 0172-39-5322